1番

上ハモ



(「あるがまま」の時にはなかった一番高い音のHA)

主メロ



あるがまま~



分かってほしい~

トハモ



あるがまま~

ここ、下字ハモがいないことに今日気づいた。(遅い) 脳内が勝手に下ハモを補充して聞いてるから(←他の人もそうですか?) 字ハモがいないのに濃厚なハーモニーに聞こえる。天才か?(失礼)

2番



フェイク

上ハモ



HA~ (1番ではアサヒが担当) 「番のアサヒが担当したHA~と音程は同じだがよりはフレーズが短い」番同様、音程が上がっていくHAからの、サビHA~を歌うため聞き手に「お?そろそろクライマックス?」感を与える(「番アサヒの時は主張控えめ)

主メロ



丸裸の~



戻らない~

下ハモ



丸裸の~



戻らない~

大サビ

上ハモ



あるがまま~

主メロ



あるがまま~



選ばなかったすべて~

トハモ



あるがまま~



選ばなかったすべて~

まとめ



相変わらずのパート固定概念のなささ



その中でも、この曲はかれんがサビを歌いがち



アサヒが下ハモしてること意外だった



1番の下ハモの引き算が絶妙 (下ハモがいないことに気づかない)